

# 企画日より 大町・材木座界隈を歩く



波濤の旅は江ノ電鎌倉駅から始まった。早速日蓮宗の本覚寺と妙本寺に向かった。駅から近いのに妙本寺の山門を踏み入り本堂をみると何故か心が安らぐ気がします。滅亡した比企一族の屋敷跡に建てられたお寺です。





ほんばりに大きく牡丹餅寺と書いてある常栄字、境内は深い新緑に覆われ、何故かお稲荷さんがあった。このお寺は本名より牡丹餅がっています。近くに癌封じの薬師堂がある上行寺も忘れがたいお寺です。安国論寺の階段を上ると趣のある参道が本堂まで続いている。土光敏夫さんのお墓もあり富士見台登口から急勾配をあえぎながら登ると眼下に材木座が見えたこの富士見台で日蓮上人は毎日欠かさずに法華経を唱えていたそうです。門前に立正安国論の一説が印象的であった。汝、早く信仰の寸志を改めて速やかに實乗の一善に帰せよ。



赤い厄除けの幟が林立する八雲神社から祇園山ハイキングに入った。すぐ急な山登りに汗を流しながら頂上に着いた。ここで昼食なのだが、藪蚊も絶好にお昼時に我々と一緒に昼食を楽しんだようだ。このコースは麓の宝戒寺まで続いており木の根に足を取られ、両手の出番も多い。北条高時の腹切やぐらも宝戒寺の内だ。宝戒寺は天台宗のお寺、本堂の畳の上でしばし旅の疲れを癒した。



源平池前の広場に君が代に詠まれた「さざれ石」が岐阜県春日町の発見者から八幡宮に奉納されていた。